



しげまつ 佳幸 区政レポート

豊洲市場特集号

発行：江東区議会自由民主党 重松佳幸



豊洲市場 管理施設棟

平成30年10月11日(木)、豊洲市場が開場しました。築地から豊洲への移転に至るまでには、受け入れ3条件という前提がありましたが、千客万来施設の計画遅延、移転延期を経ていく中で、東京都と地域との間に大きなギャップが生じてしまったと感じています。

私は、その課題を解決すべく、地元町会自治会の方々と議論を重ね、東京都や江東区との調整を経た結果、地域の代表者により平成30年9月11日(火)に東京都中央卸売市場長へ要望書を提出することができました。

地域の声を行政へ届けるための「協議会」の設置へ

東京都が主体となって協議会を設置し、そこで豊洲市場のブランドイメージの向上、にぎわい施設の整備、交通対策に加えて、受け入れ地域ならではの懸念点を“行政と直接”協議できる場を求め、東京都からは設置の約束を取り付けることができました。

市場が開場してから表面化する問題もありますので、そこに住み働く人々が、最終責任者である東京都と顔を合わせて協議できることは大変有意義なことです。そして、市場を含めた湾岸地域全体のまちづくりにもつながることが期待されます。今後の動きに是非ご注目ください。



受け入れ3条件について

当初より豊洲への市場受け入れにあたり、江東区と地元地域は、市場そのものが地元住民へ還元される施設ではないことや、交通量増大などを懸念しておりましたが、東京都と以下の条件を確約することで、受け入れを了承しました。

(1) 土壌汚染対策

(2) にぎわい施設の整備

(3) 交通対策



国産クロマグロ(実物大)モニュメント
(築地市場で取引された最大級のサイズ)

実際に使われる部分が安全にもかかわらず延期がなされ、にぎわい施設は2回にわたる計画遅延、地下鉄8号線を含む江東区の南北交通網整備は今年度内に事業スキームが提示されるにとどまっているなど、いずれも3条件を軽視していると言わざるを得ません。

また、丁寧さを欠く延期判断の公表が、豊洲地区全体へのイメージダウンを誘発したことは、地元にとって決して許されることではありません。要望書では、住民目線での具体策を盛り込みつつ、この受け入れ3条件の確実な履行と、協議会の設置を要望したものとなっています。

豊洲市場とともに進める江東湾岸地域の街づくり



市場移転に至る経緯から、いわれなき中傷を受けたことに端を発した「要望書」ですが、本文に記載の通り、「世界一の新市場とともに街づくりを進めたいという希望」を持ち続け、寄り添ってくださった地元住民の姿勢があればこそその成果だと思います。2020年にはオリンピックやパラリンピックを控える私たちの街ですが、住民と行政が力を合わせて進めていけるよう、環境づくりをしていく覚悟です。

このまちで育つ子どもたちにとって、江東湾岸地域はふるさとです。引き続き、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

プロフィール

- 〔生年月日〕 1984(昭和59)年 9月30日生(てんびん座) 34歳
〔略 歴〕 2003(平成15)年 福岡県立修猷館高等学校 卒業
2008(平成20)年 明治大学政治経済学部経済学科 卒業
2008(平成20)年 ソフトバンクモバイル株式会社 勤務
2011(平成23)年 江東区議会議員選挙 惜敗
2011(平成23)年 三井住友海上火災保険株式会社 勤務
2015(平成27)年 江東区議会議員選挙 初当選



江東区議会議員 しげまつ佳幸後援会事務所

〒135-0062 東京都江東区東雲1-8-16-315
TEL 03-5859-0020 FAX 03-5859-0021
URL <http://www.shigematsu.tokyo/>

江東区議会 企画総務委員会 / 防災・まちづくり対策 特別委員会
自 民 党 東京都連青年部 研修委員長 / 江東総支部 青年部長